

病院勤務女性医師の勤務環境など
に関するアンケートについて

平成22年6月2日

新潟市保健所保健管理課

○ 目的

病院に勤務する女性医師の勤務状況などを把握し、支援対策検討の一助とする。

○ 調査項目

- 1 病院勤務女性医師自身について
- 2 職場環境について
- 3 妊娠・出産・育児中の働き方について

○ 調査対象

市内の病院（45病院）に勤務する女性医師を対象として、平成22年1月現在で調査を実施した。

○ アンケート回収及び回収率

依頼数 339

回収数 139

回収率 41.0%

目 次

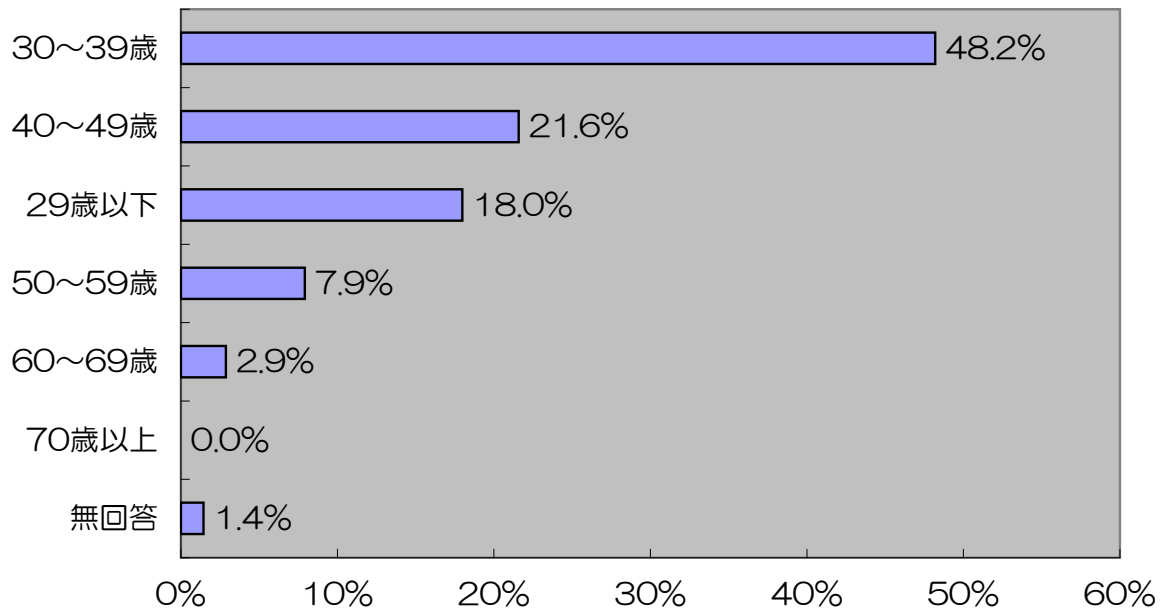
先生自身のこと	1
女性医師の職場環境	5
妊娠・出産・育児中の働き方	8
自由意見（抜粋）	15
アンケート（原本）	18
アンケート集計結果（実数含む）	22

先生自身のこと

(1) 年齢

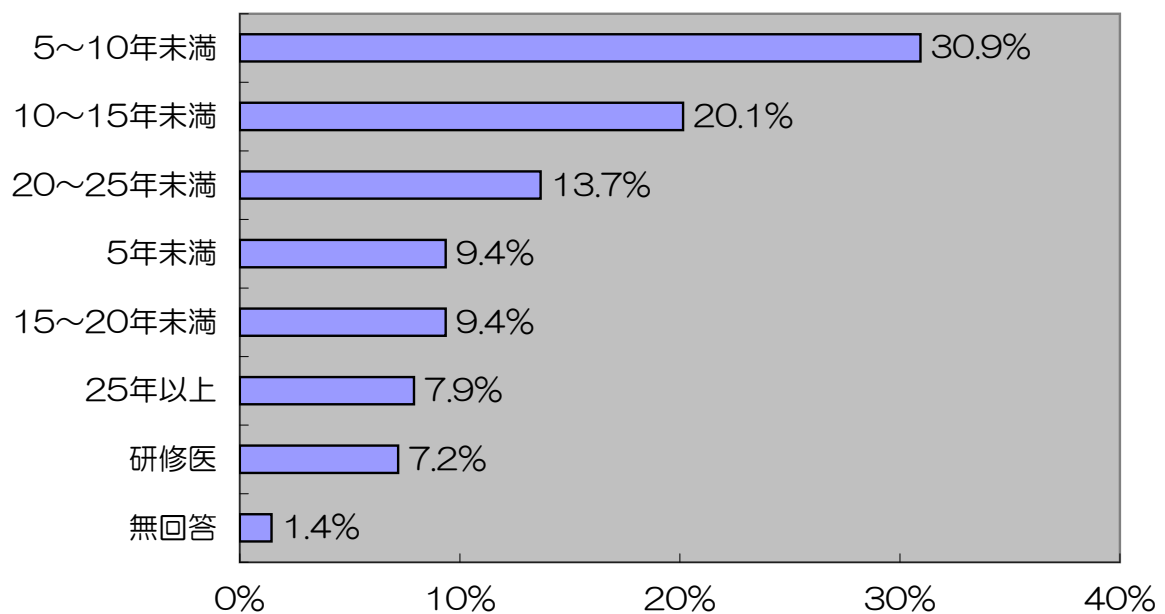
表1 年齢

本アンケートに回答いただいた女性医師139名の年齢内訳は、30歳代が48.2%と約半数を占め、次いで、40歳代が2割弱、29歳以下が1割強などとなっている。



(2) 卒業後年数

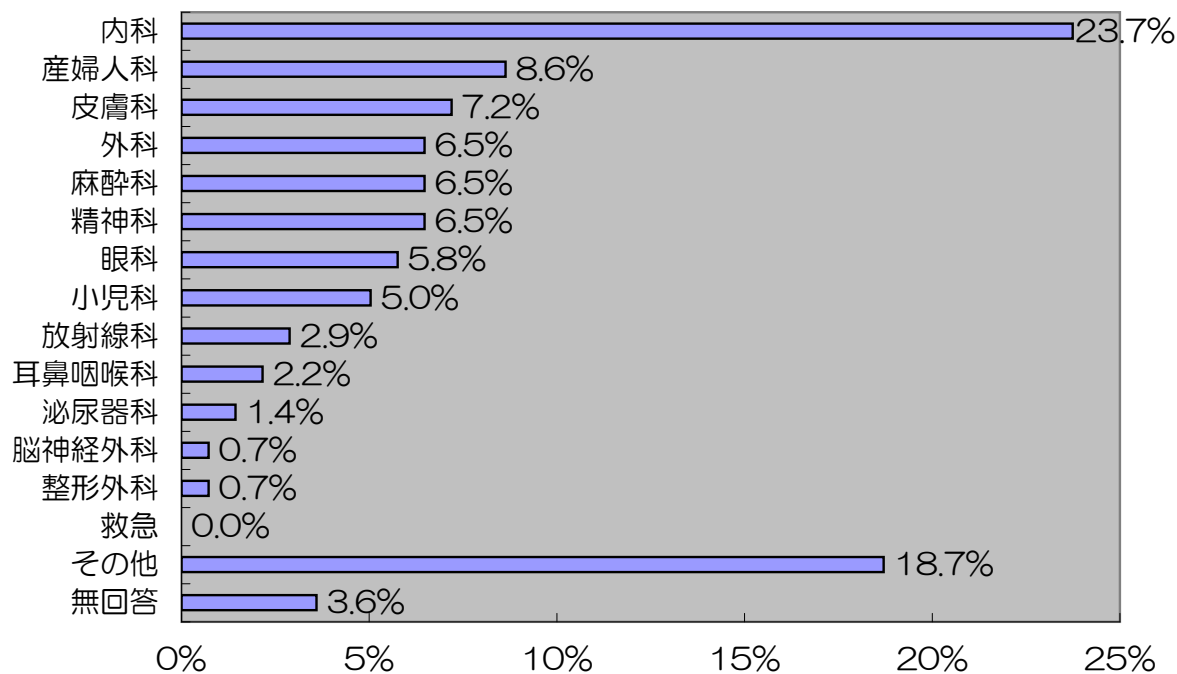
表2 卒業後年数



(3) 専門科目

表3 現在の専門科目

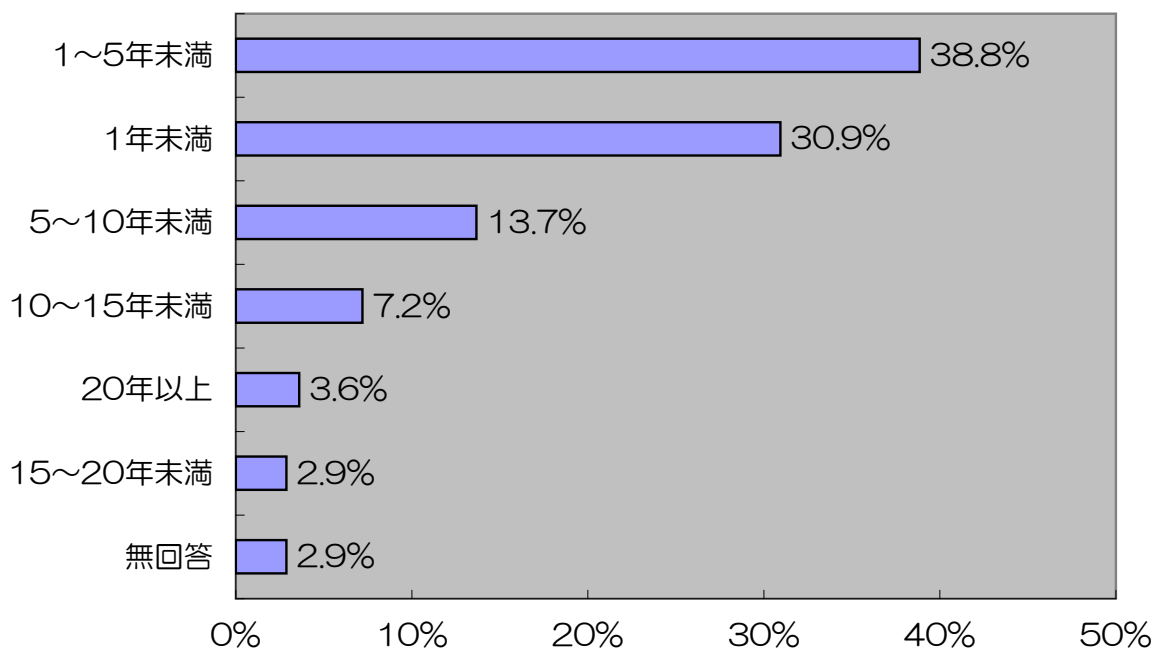
専門科目は、内科が23.7%と最も多く、次いで、産婦人科が8.6%、皮膚科が7.2%となっている。



(4) 現在の病院の勤務年数

表4 現在の病院の勤務年数

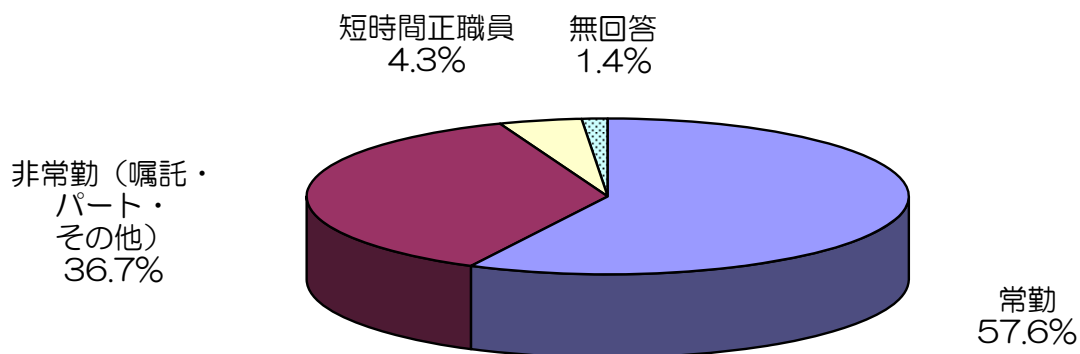
現在の病院の勤務年数は、1～5年未満が最も多く（38.8%）、1年未満と併せると6割強を占める。



(5) 勤務形態

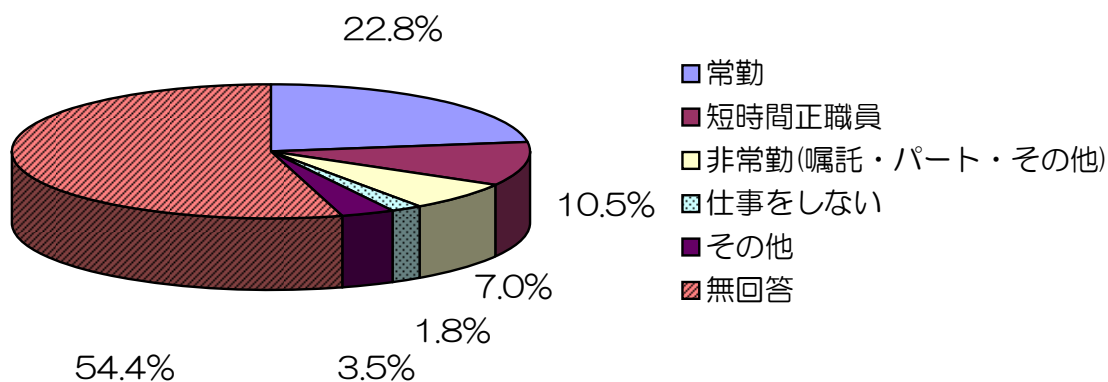
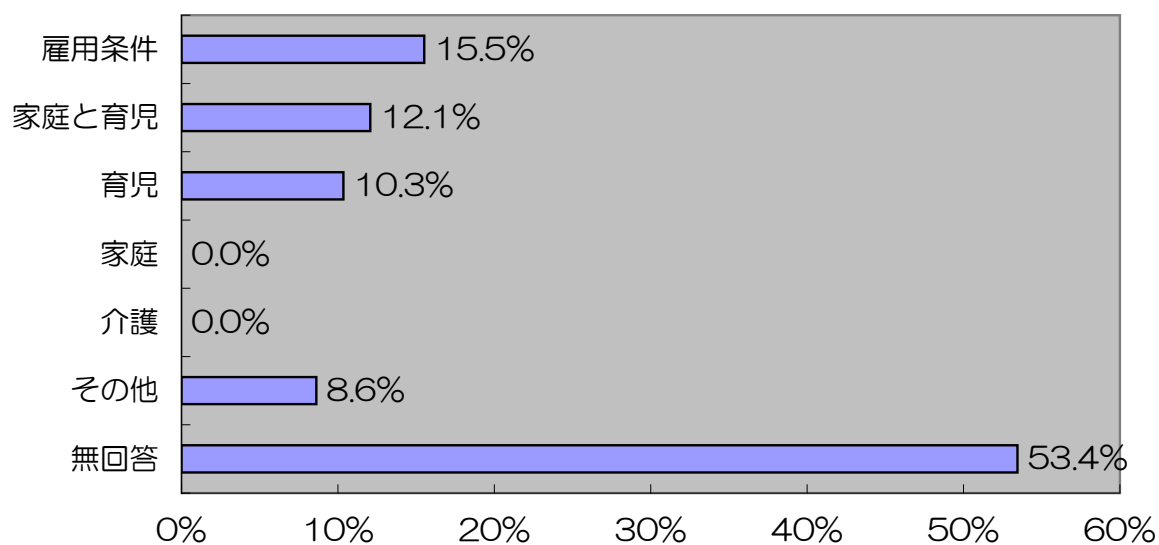
表5 勤務形態

勤務形態は常勤が5割強、非常勤・短時間正職員は4割弱を占める。



(6) 常勤以外の理由と将来の希望

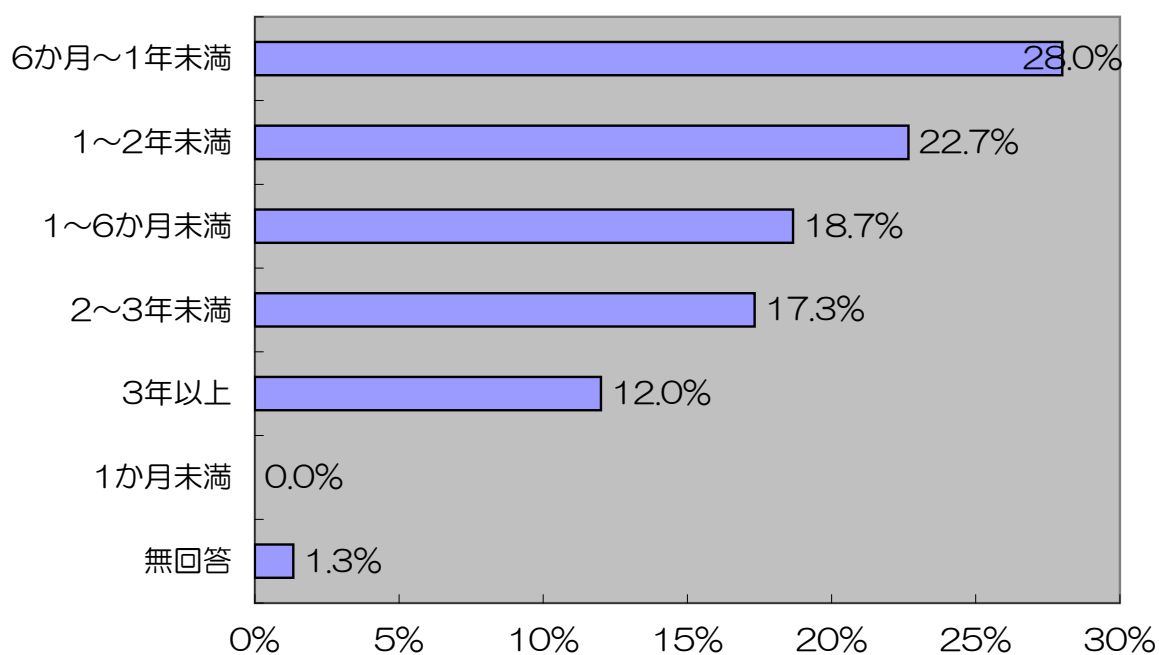
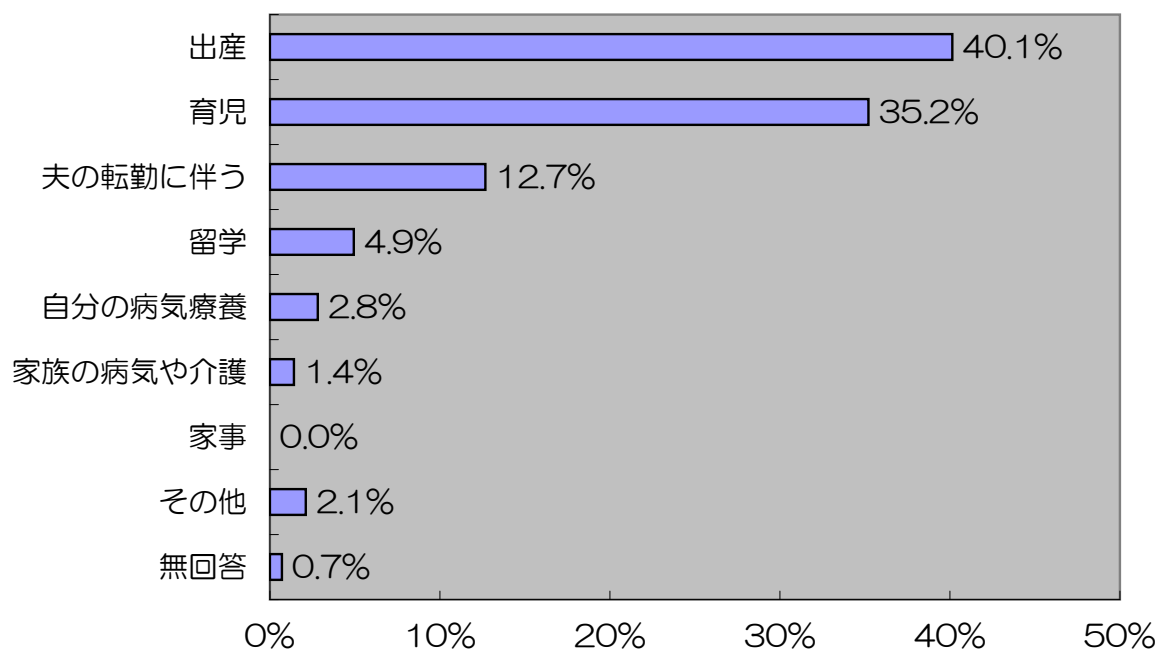
表6 勤務形態が常勤以外の理由（複数回答）及び将来希望する勤務形態



(7) 休職・離職

表7 仕事を中断（休職），離職した理由（複数回答）及び中断（休職），離職した期間

休職・離職は、半数以上が経験しており、その理由は4分の3が「出産」「育児」となっている。休職，離職した期間は、1～6か月未満が18.7%，6か月～1年未満が28.0%で、約半数が1年未満に復職している。

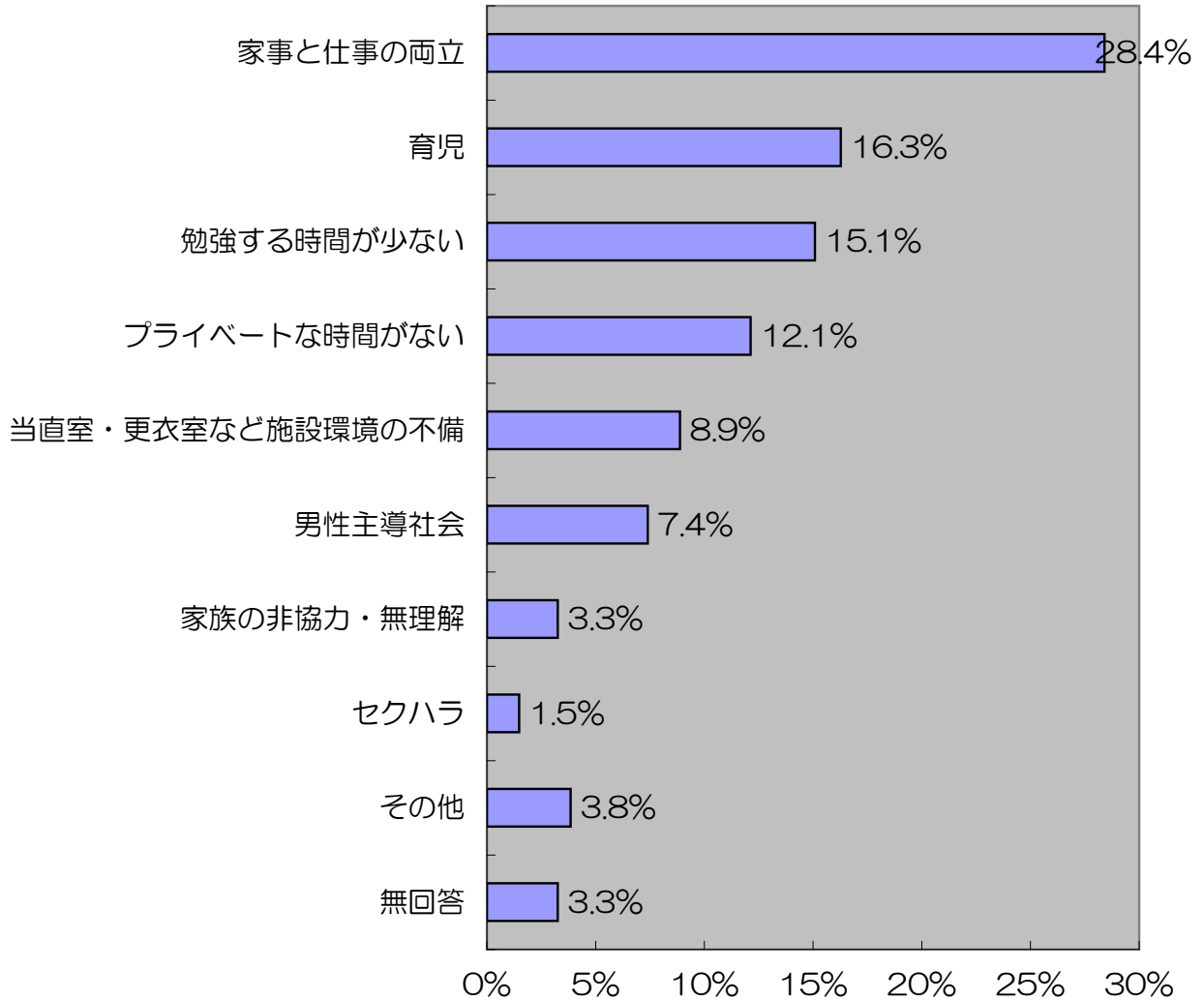


女性医師の職場環境

(1) 女性医師としての悩み

表8 女性医師としての悩み（複数回答）

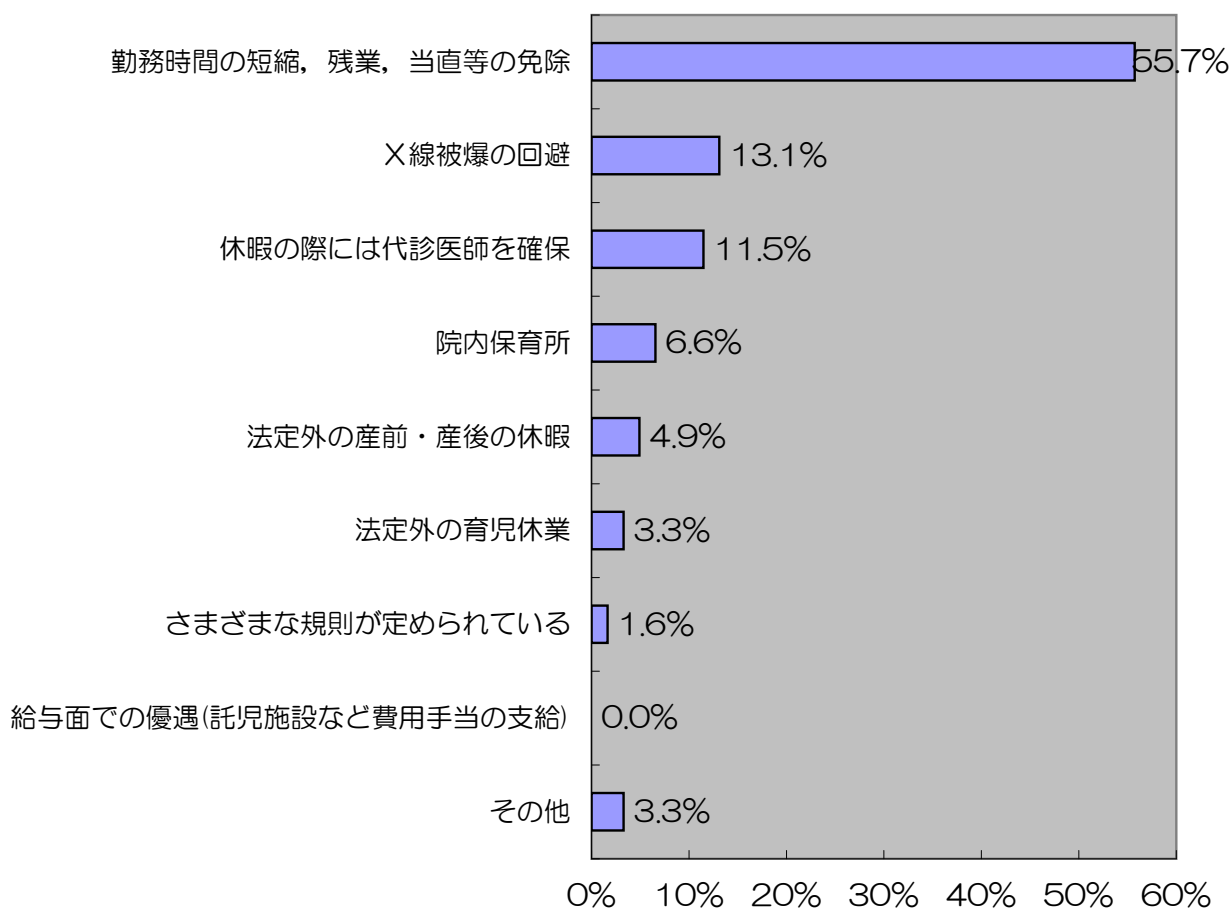
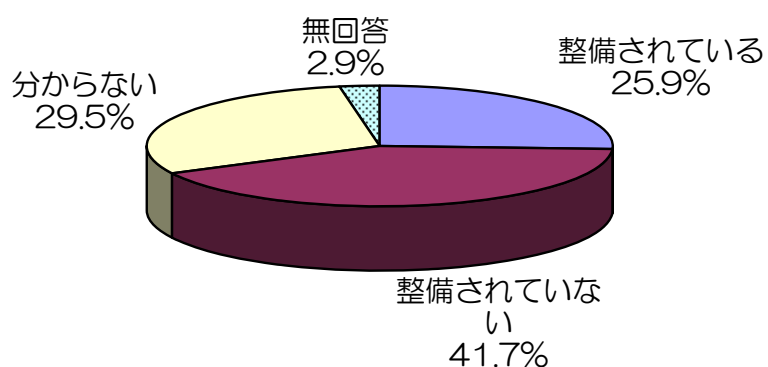
女性医師としての悩みは、「家事と仕事の両立」が最も多く（28.4%）、次いで、「育児」（16.3%）、「勉強する時間が少ない」（15.1%）となっている。「施設環境（当直室，更衣室，休憩室など）の不備」（8.9%）もあげている。



(2) 就労環境や規則の整備

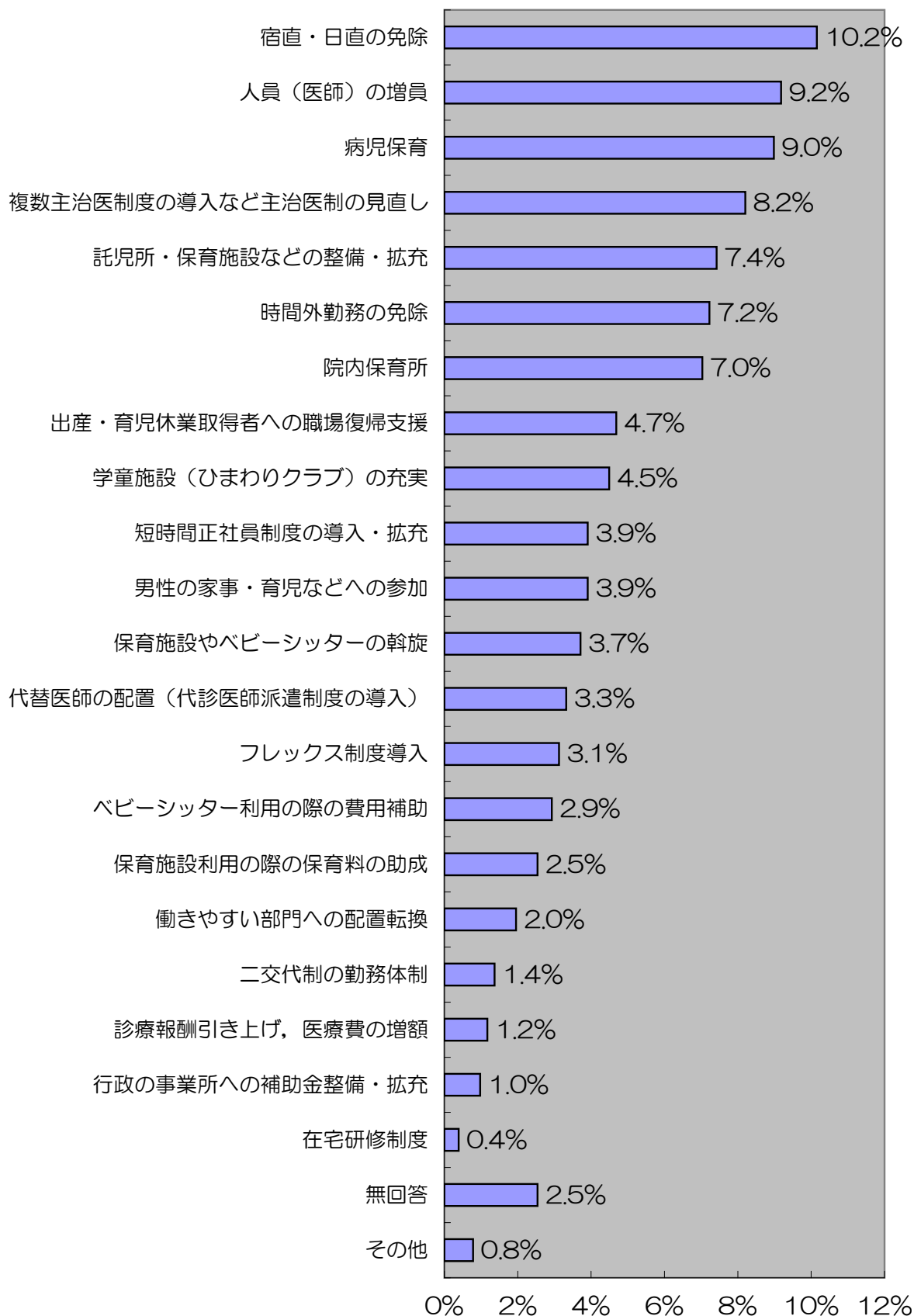
表9 仕事と家庭生活を両立させるための就労環境や規則の整備状況と整備されている内容（複数回答）

就労環境や規則の整備は、「整備されている」が25.9%であり、整備内容の約半数が、「勤務時間の短縮，残業・当直などの免除」をあげている。



(3) 就労継続に必要な対策

表10 就労継続に必要と思う制度や仕組み・支援対策（複数回答）
就労継続に必要な制度や支援対策は、「宿直・日直の免除」，「人員（医師）の増員」，「病児保育」がそれぞれ約10%である。



妊娠・出産・育児中の働き方

(1) 小学生以下のこどもの人数

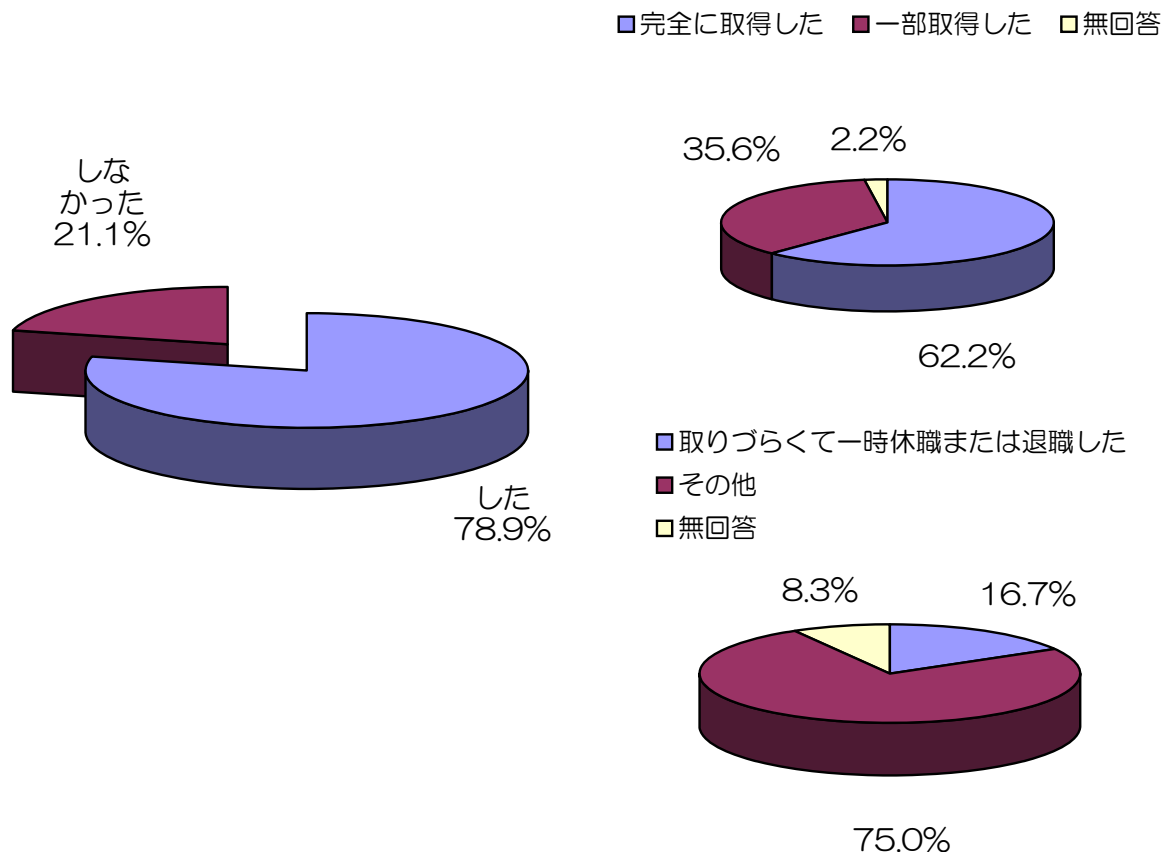
表11 小学生以下のこどもの人数

区 分	こどもの人数	数	%
乳幼児	1	22	38.6%
	2	11	19.3%
	3人以上	1	1.8%
小学校1～3年	1	1	1.8%
小学校4～6年	1	6	10.5%
乳幼児+小学校1～3年	2	4	7.0%
	3人以上	4	7.0%
乳幼児+小学校4～6年	2	1	1.8%
小学校1～3年+小学校4～6年	2	6	10.5%
乳幼児+小学校1～3年+小学校4～6年	3人以上	1	1.8%
総数		57	100.0%

(2) 産前・産後休暇の取得

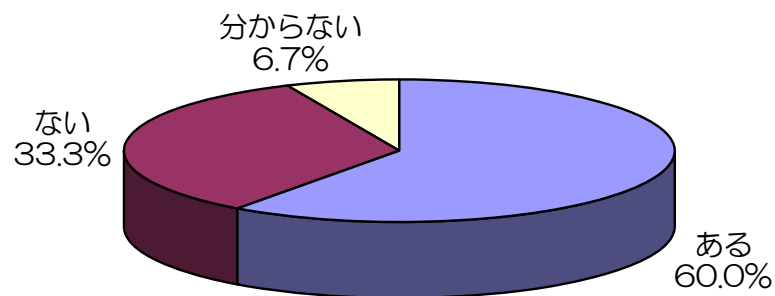
表12 産前・産後休暇の取得有無，取得状況及び取得しなかった理由

産前・産後休暇を取得したのは7割強で，そのうち62.2%は「完全に取得」したが，35.6%は「一部の取得」であった。休暇を取得しなかった12名のうち，2名が「休暇が取りづらくて一時休職または退職」，「その他」のうち3名が取得＝退職という状況のため取得しなかったと答えている。



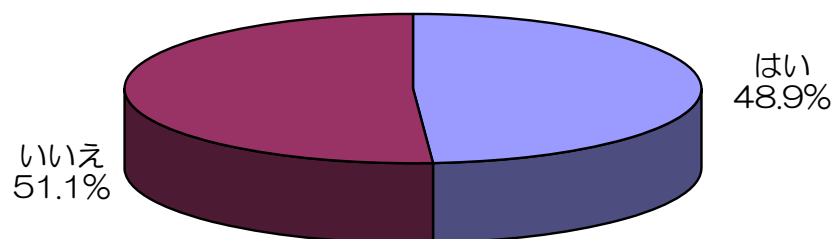
(3) 産前・産後休暇中の身分保障

表13 産前・産後休暇中の身分保障の有無



(4) 産前・産後休暇中の給与支給

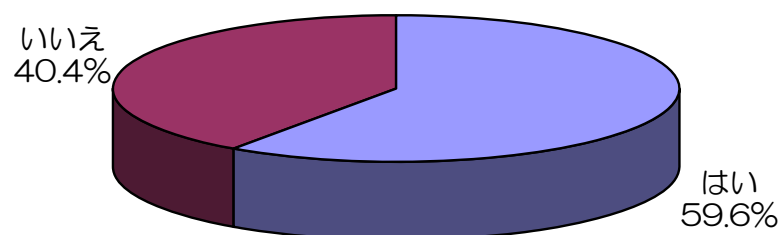
表14 産前・産後休暇中の給与支給の有無

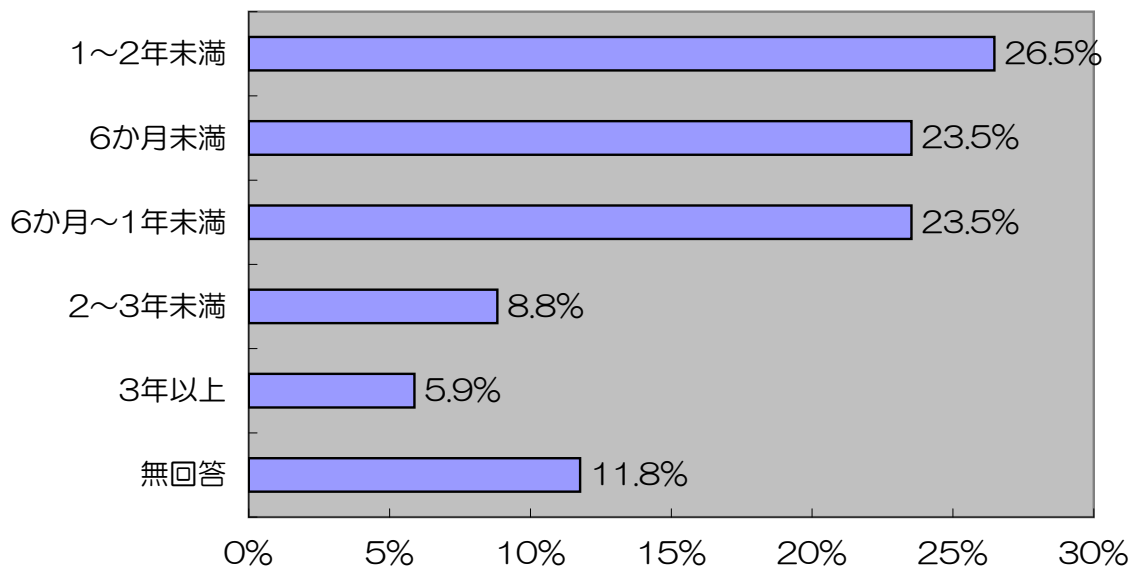


(5) 育児休業の取得

表15 育児休業の取得有無及び期間

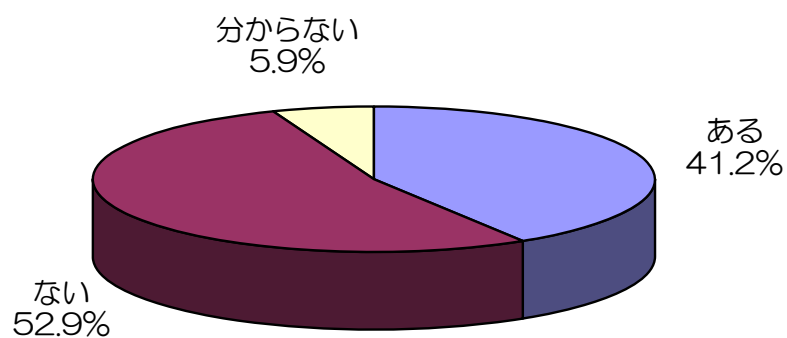
育児休業の取得率は5割強で、「1～2年未満」が26.5%と最も多く、「6か月未満」，「6か月～1年未満」がそれぞれ23.5%となっている。





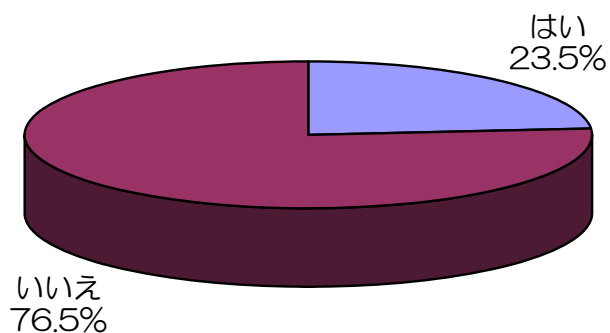
(6) 育児休業中の身分保障

表16 育児休業中の身分保障の有無



(7) 育児休業中の給与支給

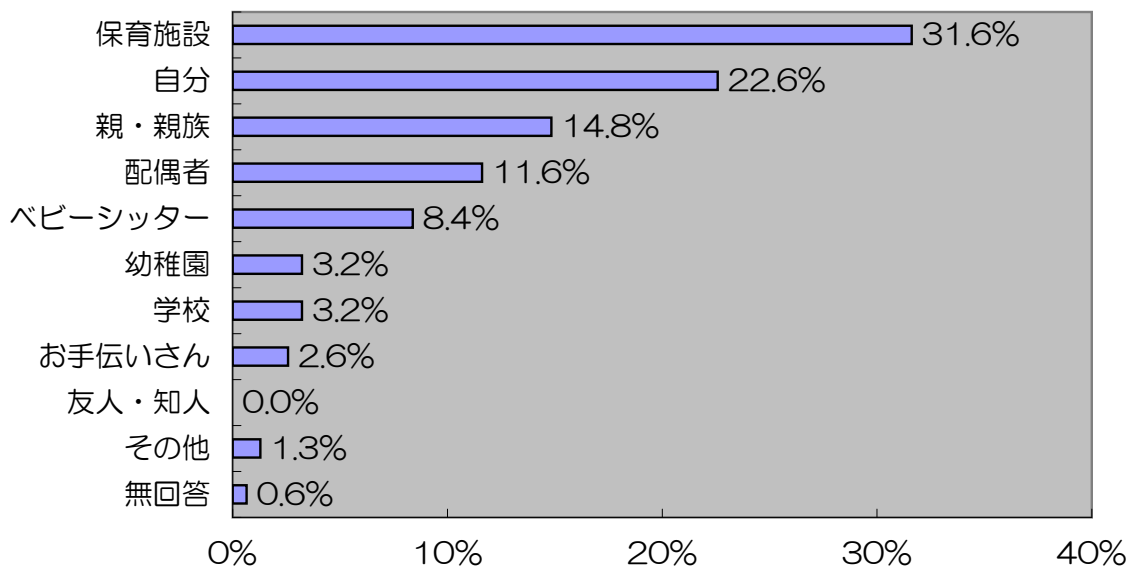
表17 育児休業中の給与支給の有無



(8) こどもの面倒

表18 普段、こどもの面倒をみている人（複数回答）

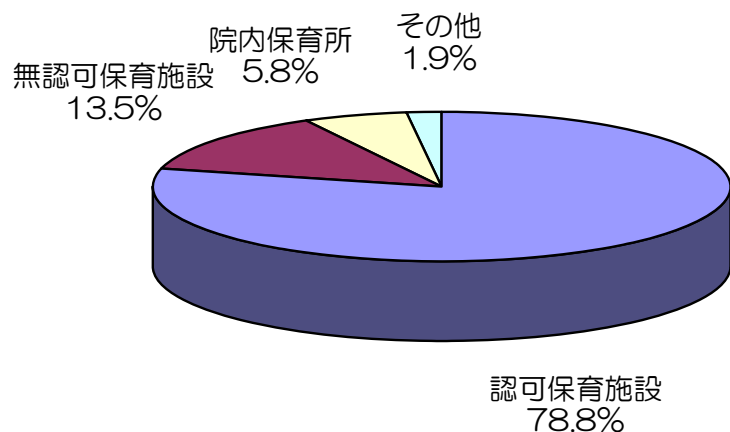
普段のこどもの面倒では、31.6%が保育施設を利用しており、自分で面倒をみているのは22.6%で、14.8%が親・親族が担っている。



(9) 利用保育施設

表19 利用している保育施設の種類（複数回答）

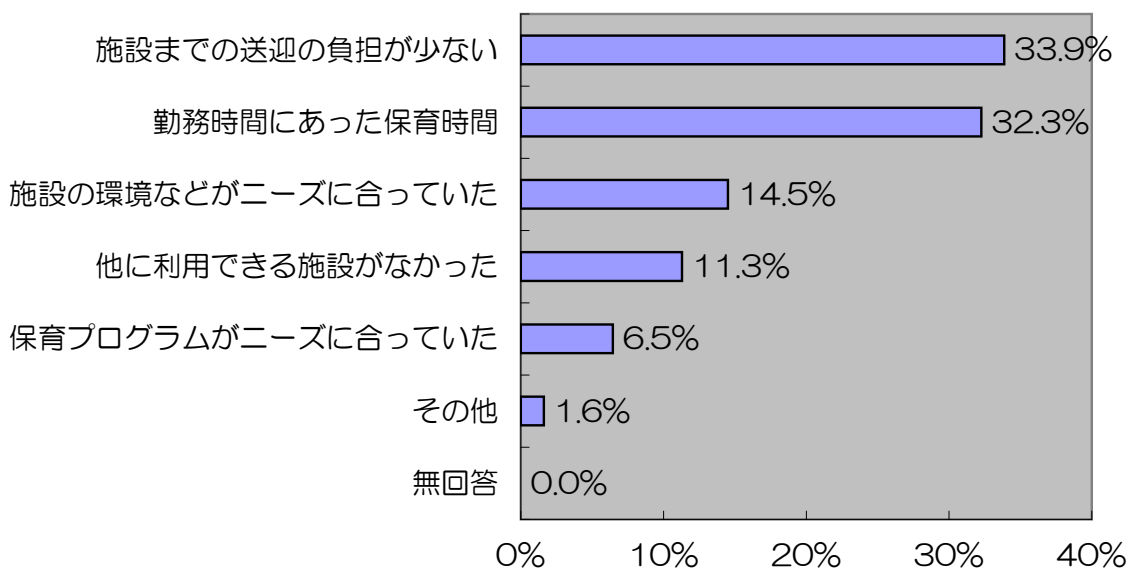
利用している保育施設は、「認可保育施設」が7割強と最も多く、「無認可保育施設」の利用は13.5%である。「院内保育所」の利用は5.8%となっている。



(10) 保育施設の選択理由

表20 保育施設の選択理由（複数回答）

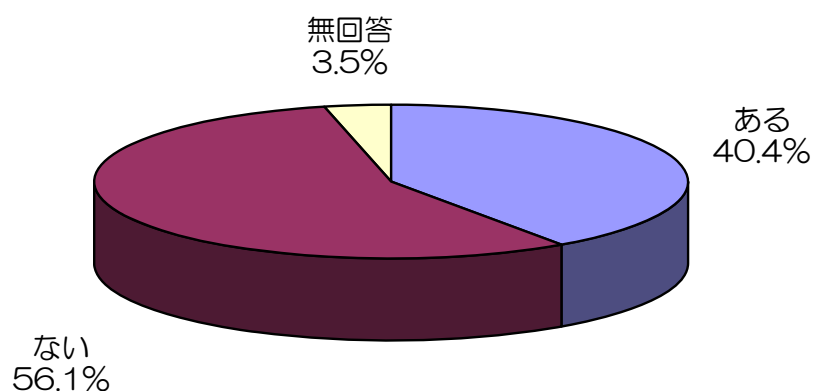
保育施設の選択理由としては、「送迎の負担が少ない」が33.9%、「勤務時間にあった保育時間」が32.3%となっている。



(11) 保育所・託児所

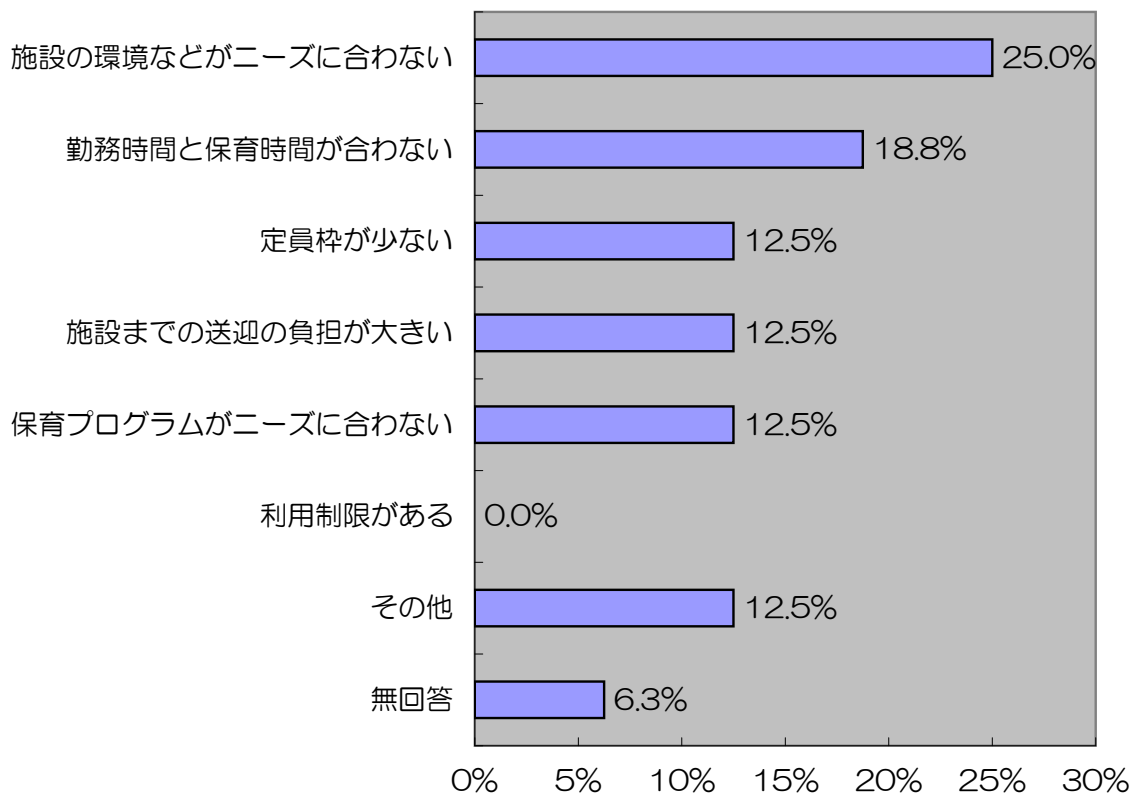
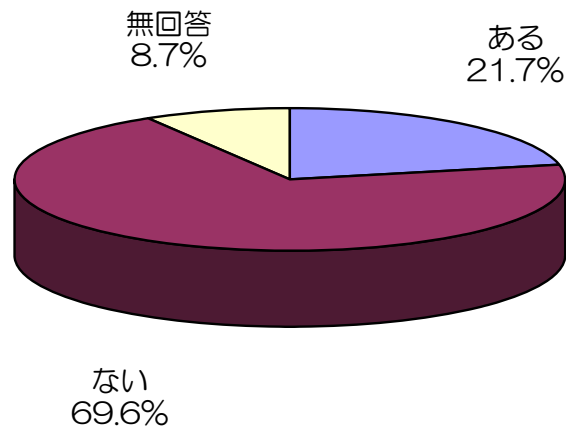
表21 職場の保育所・託児所の有無

院内保育所があると回答された方のなかで、未利用が6割強となっており、その理由としては、「施設環境が合わない」が25.0%で、「定員枠」や「保育時間」も理由として挙げられている。



(12) 院内保育所の利用

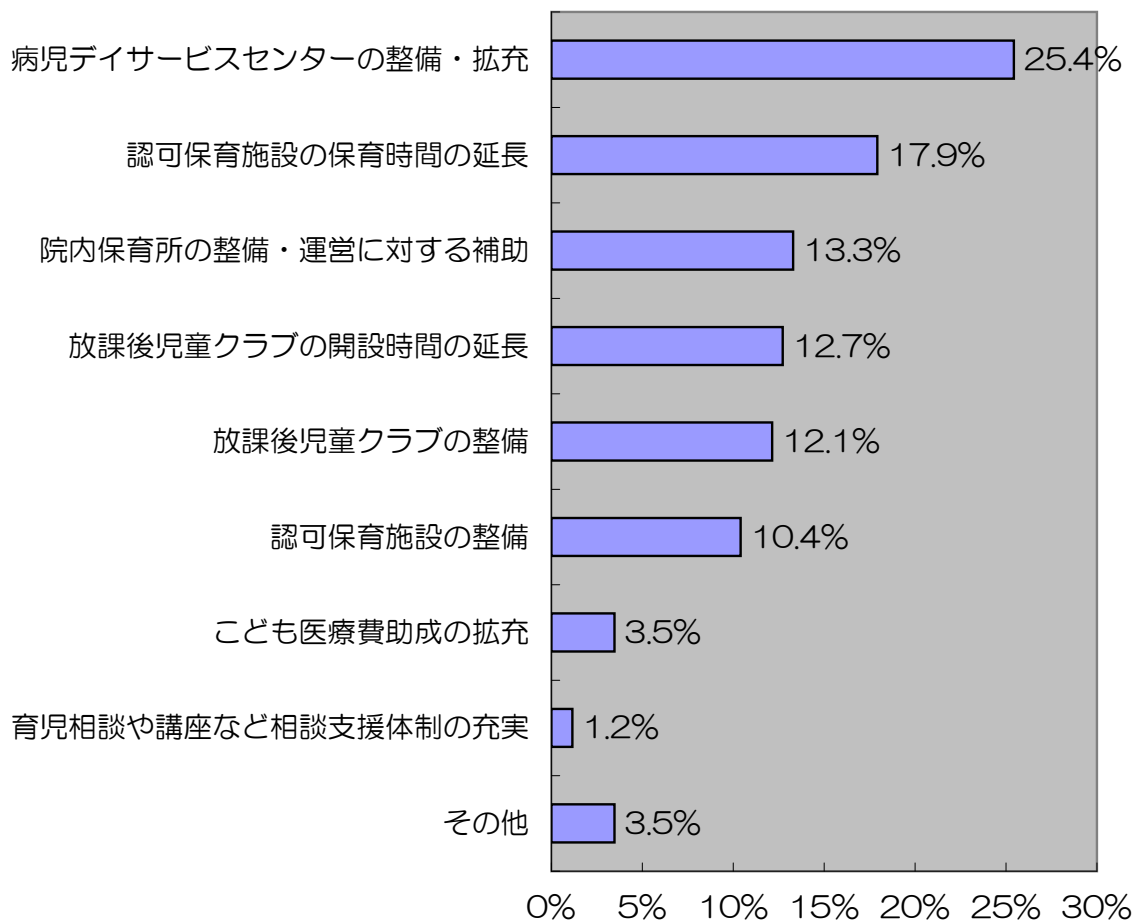
表2.2 院内保育所の利用有無及び未利用理由（複数回答）



(13) 必要と思う行政の支援対策

表23 必要と思う行政の支援対策（複数回答）

必要と思う行政の支援対策としては、「病児デイサービスセンターの整備・拡充」が25.4%と最も高く、「認可保育施設の保育時間の延長」が17.9%、「院内保育所の整備・運営補助」が13.3%となっている。放課後児童クラブに関することは約2割となっている。



自由意見（抜粋）

アンケート回答者の中から58名の自由意見をいただいた。
分類すると職場環境、育児、労働条件に関する以下の意見が見られた。

（1）職場環境（24件）

「長く同じところで仕事できたのは病院側の理解があったから」、「制度や仕組みが整っていても制度を受け入れる・利用できる職場環境が整わなければ制度の利用ができない、利用しづらい。」

（2）労働条件（23件）

「女医に限らず、医師全体のワークシェアを見直す必要がある。」、「賃金の見直し。」、「健康保険等の保障が必要。」、「社会的責任が重い。」

（3）育児（17件）

「保育施設の充実・時間延長、緊急時に預けられる施設等、もっと預けやすい環境が必要。」「育児を人任せにせず、女性として育児を大切にすることが必要。」

（4）その他（8件）

「新潟県女性医師ネットを知り、心強い、協力したい。」、「昔より制度は整ってきている。」

職場環境

今は、他の先生の協力もあり、いい環境で働かせて頂いてます。二人目を産みたいのですが、産後また人事異動で職場が変わる可能性を考えると、躊躇してしまう。

制度や仕組みがあっても、実際にはそれを利用できない。職場の状況、雰囲気などがある。もしくは、それを利用する、利用させる習慣が無いなど。職場全体の認識も、もっと変わっていきけるようになるとよいと思います。

男性医師の女性医師（育児中）に対する理解を得ることは、とても難しいと思います。当たり前のように女性が夜勤を免除してもらえたり、時間外労働を免除してもらえる仕組みができれば有り難いです。医局という縛りがあると、なかなか仕組みをつくり上げるのも困難かと思えます。少しずつでも女性の働きやすい職場が増えることを祈ります。

施設があっても、上司や同僚の理解がないと、成り立たない。今は、理解や協力を得られるほど、周囲の医師にも余裕は無い。人員も費用も不足している。雑務は増える一方です。

職場のプレッシャー、ストレスが大きく、妊娠なんてとても今は考えられない。妊娠中、育児中の環境整備のことばかり取り上げられていますが、妊婦、育児中以外の女性医師の問題にも目を向けてほしい。私自身、妊娠する時は仕事を辞めようと思っている。

同僚医師や男性医師が、子育て中の女性医師を思いやる余裕がなくなっている。（多忙なので）勤務形態や行政サービスが進化しても、その恩恵を受けない医師が受け入れられるかどうかカギ。パワハラで苦しむことになるかも。

女性医師の働く環境を整備して欲しい。現在オーバークラスの男性医師には、理解の出来ない方が多くいるので、行政として早く整備してほしい。でないと、新潟県の医師はますます働きにくくなり、減る一方です。

ここまで長く同じところで仕事できたのは、病院側の理解があったこと、子供の面倒を看てくれた実家の母のお陰と感謝している毎日です。

労働条件

社会的責任が重く、自由に生き方の選択ができない。収入も高くなくて、義務に比べて働く意欲に反映できない。医者への期待も高いが、裏づけがなさすぎる。男女共に共通である。

女性や母親でなく、普通の医師全体の労働環境が悪すぎる。人間的でない。例えば時間外労働が月80時間～100時間は「ざら」である。今後も増える予想……。やってられない。他の人の分をカバーする余裕は全くありません。

‘女性’医師に限らず‘男性’医師の労働条件全体でのワークシェアを考え、父親母親がともに‘家庭’に居られる時間を確保することを目指さぬ限り、現状の改善は難しい。‘女性’‘母親’のみ優遇することは医師間・女性間、ひいては職種間での対立を招く。もっと全体的な対策が欲しい。

現在の職場の給与（パートです）だけではベビーシッターや家政婦さんのお給料はまかなえず、パートのかけもちで週末も働いています。それでも子供が病気をすれば私も休まないわけにはいかず、給与が下がって、さらに余裕が無くなる。パートも日数が少なければ、保育園も預かっては下さらないし、そもそも自分の健康保険もどこの職場でもとれず、高い国保等を利用せざるを得ません。仕事で成したい事もあり、頑張っています（家族も協力してくれます）限界を感じる事も少なくありません。パート勤務とはいえ、もう少し金銭的な保証が必要では…と思います。

妊娠・出産・育児をする年代の女性医員（日雇い形式）は、産休、育休は休むことは可能でも実際は休職（無給）です。休む事が出来るだけでも昔に比べれば良いとは思いますが、他の職種と比較すると非常に遅れていると思います。

保育園の時間の延長はいざという時のために大切だと思いますが、実際に小さな子供を育てると、迎えに行くのが19時で、その後食事お風呂などして寝かせるのは、子供の生活リズムを守るという意味で大変です。今、8時前に預けて19時に迎えに行っていてこれが限界です。今以上の勤務が求められれば、いくら社会制度が整っても、多くの女性医師が離職してしまうと思います。

男性でも女性でも独身者や、子供のいない人にしわ寄せが行く。『同一労働・同一賃金』を徹底し、交代して休みが取りやすい環境を整備するのが第一だと思う。

医師同士で結婚している人は多いので、男性の医師の働き方の見直しがなされていかないと、女性医師も働きにくいと思います。

育児

2人の子供がおり転居などもあり、仕事に復帰する際、保育所を確保するにはいつも大変苦労しました。子供2人が別々の幼稚園と保育園に通っていました。仕事が少し遅くなると迎えに間に合わないし、もっと預けやすい環境をつくって頂きたいと思います。

病児保育は利用可能な地域が限定されるため、ほとんど利用できない。仕事を続ける上で、勉強する時間を確保できない。仕事以外の理由では、保育園で預かってくれない。

保育施設を充実させるのはいいことですが、育児はとても大切な「仕事」でもあるので、希望する働く女性には、どんな職種でも最長3年間の育給を取れる制度があればいいと思います。女性が社会に進出して、育児を人任せにしつつある気がします。現代の考えられない犯罪や社会問題を考えると、日本人はもう少し「育児」を大切にすべきではないでしょうか。

普段は保育施設にお願いしているので、仕事（パートですが）に支障は無いのですが、やはり病気の時は困ります。熱が出た当日でも預かってくれる施設が増えれば非常に助かります。

大学勤務している場合、大学からの収入は少なく、アルバイトをしなければならない状況なのに、休暇中保障されるのは収入の一部でしかない大学からの収入のみ。収入が著しく下がります。院内保育園は無認可で、病児保育・24時間保育も無く、自分の親などの協力が無ければ、当直や呼び出しに対応できない。近親者の協力が無くてもフルタイムで労働できる環境が必要。

その他

女性医師ネットが有効に機能していくことを願っております。

①20年前は育児休業をとれる状況に無く、出産前後各6wの休みのみでした。しかもその間のナーベン出張は自分で代わりの医師をお願いし、自分の夏休みを削って返礼していました。当時から見ると、女性医師の働く環境が本格的に整ってきている。

②当時では、女性医師だけでなく、病気をお持ちの男性医師も状況に応じて勤務形態を考慮してお互いに仕事を預けられる。

「新潟県女性医師ネット」の存在を初めて知りました。とても心強いです。是非、自分なりに協力出来たらとも思います。廃業される女性医師を少しでも減らせたらと思います。かなり責任の重い職種ではありますが、子育て中でも無理なく余裕を持って続けられる環境ができれば、と強く思っております。

女医の場合、50歳を過ぎると今度は介護の問題が起きてきます。この点でも配慮が必要かと思えます。実際、私の場合、要介護5の実母を在宅で4～5年見て、今は要介護2の父を在宅介護しています。

あまり行政に頼るのはどうかと思う。無許可保育施設の方が良い場合もあります。

◇ 先生ご自身のことについて、お答えください。

年 齢	<input type="checkbox"/> 29歳以下	<input type="checkbox"/> 40～49歳	<input type="checkbox"/> 60～69歳
	<input type="checkbox"/> 30～39歳	<input type="checkbox"/> 50～59歳	<input type="checkbox"/> 70歳以上

卒業後年数	<input type="checkbox"/> 研修医	<input type="checkbox"/> 5～10年未満	<input type="checkbox"/> 15～20年未満	<input type="checkbox"/> 25年以上
	<input type="checkbox"/> 5年未満	<input type="checkbox"/> 10～15年未満	<input type="checkbox"/> 20～25年未満	

現在の専門は何ですか？				
<input type="checkbox"/> 内科	<input type="checkbox"/> 産婦人科	<input type="checkbox"/> 眼科	<input type="checkbox"/> 泌尿器科	<input type="checkbox"/> 精神科
<input type="checkbox"/> 外科	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 皮膚科	<input type="checkbox"/> 脳神経外科	<input type="checkbox"/> 放射線科
<input type="checkbox"/> 小児科	<input type="checkbox"/> 麻酔科	<input type="checkbox"/> 耳鼻咽喉科	<input type="checkbox"/> 整形外科	<input type="checkbox"/> その他（ ）

お勤めの病院での勤務年数は何年ですか？（1年未満の方は月単位でお答えください）	
年	か月

勤務形態は次のどれですか？		
<input type="checkbox"/> 常勤	<input type="checkbox"/> 非常勤（嘱託・パート・その他）	<input type="checkbox"/> 短時間正職員

勤務形態が常勤以外の方にお伺いします。その理由は何ですか？		
<input type="checkbox"/> 育児	<input type="checkbox"/> 家庭と育児	<input type="checkbox"/> 雇用条件
<input type="checkbox"/> 家庭	<input type="checkbox"/> 介護	<input type="checkbox"/> その他（具体的に： ）

勤務形態が常勤以外の方にお伺いします。将来希望する勤務形態は次のどれになりますか？			
<input type="checkbox"/> 常勤	<input type="checkbox"/> 非常勤	<input type="checkbox"/> 短時間正職員	<input type="checkbox"/> 仕事をしない
その理由（ ）			

仕事を中断（休職），離職したことがある方にお伺いします。その理由を教えてください。			
<input type="checkbox"/> 自分の病気療養	<input type="checkbox"/> 出産	<input type="checkbox"/> 留学	
<input type="checkbox"/> 家族の病気や介護	<input type="checkbox"/> 育児	<input type="checkbox"/> その他	
<input type="checkbox"/> 家事	<input type="checkbox"/> 夫の転勤に伴う	（具体的に： ）	

仕事を中断（休職），離職したことがある方にお伺いします。期間はどのくらいですか？		
<input type="checkbox"/> 1カ月未満	<input type="checkbox"/> 6カ月～1年未満	<input type="checkbox"/> 2年～3年未満
<input type="checkbox"/> 1～6カ月未満	<input type="checkbox"/> 1年～2年未満	<input type="checkbox"/> 3年以上

◇ 女性医師の職場環境について、お答えください。

問1-1 女性医師として、どのような悩みをお持ちですか？（複数回答可）

- | | |
|---|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 家事と仕事の両立 | <input type="checkbox"/> 男性主導社会 |
| <input type="checkbox"/> 育児 | <input type="checkbox"/> セクハラ |
| <input type="checkbox"/> プライベートな時間がない | <input type="checkbox"/> 家族の非協力・無理解 |
| <input type="checkbox"/> 勉強する時間が少ない | <input type="checkbox"/> その他 |
| <input type="checkbox"/> 当直室・更衣室・休憩室など施設環境の不備 | (具体的に：) |

問1-2 職場では、女性医師の妊娠・出産・育児・その他に対し、仕事と家庭生活を両立させるための就労環境や規則などが整備されていますか？

- 整備されている 整備されていない 分からない

→ (問1-3へ)

問1-2-2 「1. 整備されている」と回答された方にお伺いします。
それは、どのような整備内容ですか？（複数回答可）

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 休暇の際には代診医師を確保 | <input type="checkbox"/> 法定外の産前・産後の休暇 |
| <input type="checkbox"/> 院内保育所 | <input type="checkbox"/> 法定外の育児休業 |
| <input type="checkbox"/> 給与面での優遇(託児施設など費用手当の支給) | <input type="checkbox"/> さまざまな規則が定められている |
| <input type="checkbox"/> 勤務時間の短縮、残業、当直等の免除 | <input type="checkbox"/> その他 |
| <input type="checkbox"/> X線被爆の回避 | (具体的に：) |

問1-3 仕事を続ける上で、必要と思う制度や仕組み・支援対策はどのようなことですか？（必要と考えるものを3つまで回答してください）

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 人員（医師）の増員 | <input type="checkbox"/> 保育施設やベビーシッターの斡旋 |
| <input type="checkbox"/> 複数主治医制度の導入など主治医制の見直し | <input type="checkbox"/> 保育施設利用の際の保育料の助成 |
| <input type="checkbox"/> 二交代制の勤務体制 | <input type="checkbox"/> ベビーシッター利用の際の費用補助 |
| <input type="checkbox"/> 代替医師の配置（代診医師派遣制度の導入） | <input type="checkbox"/> 学童施設（ひまわりクラブ）の充実 |
| <input type="checkbox"/> 宿直・日直の免除 | <input type="checkbox"/> 男性の家事・育児などへの参加 |
| <input type="checkbox"/> 時間外勤務の免除 | <input type="checkbox"/> 在宅研修制度 |
| <input type="checkbox"/> 短時間正社員制度の導入・拡充 | <input type="checkbox"/> 出産・育児休業取得者への職場復帰支援 |
| <input type="checkbox"/> フレックス制度導入 | <input type="checkbox"/> 行政の事業所への補助金整備・拡充 |
| <input type="checkbox"/> 働きやすい部門への配置転換 | <input type="checkbox"/> 診療報酬引き上げ、医療費の増額 |
| <input type="checkbox"/> 託児所・保育園などの整備・拡充 | <input type="checkbox"/> その他 |
| <input type="checkbox"/> 院内保育所 | (具体的に：) |
| <input type="checkbox"/> 病児保育 | |

◇ 妊娠・出産・育児中の働き方について、『小学生以下』のお子さんのおられる方のみ質問にお答えください。

問2-1 お子さんの人数を教えてください。

- 乳幼児（ 人） 小学校1～3年（ 人） 小学校4～6年（ 人）

【一番下のお子さんの妊娠・出産・育児の状況についてお答えください。】

問2-2 産前・産後休暇を取得しましたか？

した

しない

問2-2-2 取得した方の取得状況についてお答えください。

- 完全に取得した
 一部取得した

↳ (問2-3へ)

問2-2-3 取得しなかった方は、その理由についてお答えください。

- 取りづらくて一時休職または退職した
 その他(具体的に:)

↳ (問2-4へ)

問2-3 産前・産後休暇中の身分保障及び給与はありましたか？

- | | | | |
|------|-----------------------------|------------------------------|--------------------------------|
| 身分保障 | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ | <input type="checkbox"/> 分からない |
| 給与 | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ | |

問2-4 育児休業を取得しましたか？

- はい (期間: 年 か月)
 いいえ (理由:)

問2-5 育児休業中の身分保障及び給与はありましたか？

- | | | | |
|------|-----------------------------|------------------------------|--------------------------------|
| 身分保障 | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ | <input type="checkbox"/> 分からない |
| 給与 | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ | |

問2-6 普段、お子さんは、どなたが面倒を見ていますか(見ていましたか)？(複数回答可)

- 自分 友人・知人 保育施設 その他
 配偶者 ベビーシッター 幼稚園 (具体的に:)
 親・親族 お手伝いさん 学校

問2-7 保育施設をご利用の方は次のうちのどの施設を利用していますか(いましたか)？

- 認可保育施設 院内保育所
 無認可保育施設 その他(具体的に:)

問2-8 前の質問で、その保育施設を選択した理由についてお答えください。

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 勤務時間にあった（カバーできる）保育時間 | <input type="checkbox"/> 他に利用できる施設がなかった |
| <input type="checkbox"/> 施設までの送迎の負担が少ない | <input type="checkbox"/> その他 |
| <input type="checkbox"/> 施設的环境などがニーズに合っていた | （具体的に： _____） |
| <input type="checkbox"/> 保育プログラムがニーズに合っていた | |

問2-9 職場に保育所または託児所がありますか？

- ある ない

問2-9-2 院内保育所などを利用したことがありますか？

- ある ない

問2-9-3 院内保育所などがあるのに利用しない（しなかった）理由について教えてください。

- | | |
|---|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 定員枠が少ない | <input type="checkbox"/> 利用制限がある |
| <input type="checkbox"/> 保育時間と勤務時間が合わない | （具体的に： _____） |
| <input type="checkbox"/> 施設までの送迎の負担が大きい | <input type="checkbox"/> その他 |
| <input type="checkbox"/> 施設的环境などのニーズに合わない | （具体的に： _____） |
| <input type="checkbox"/> 保育プログラムがニーズに合わない | |

問2-10 妊娠・出産・育児中において、必要と思う行政としての支援対策はどのようなことですか？
（必要と考えるものを3つまで回答してください）

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 認可保育施設の整備 | <input type="checkbox"/> 病児デイサービスセンター（※2）の整備・拡充 |
| <input type="checkbox"/> 認可保育施設の保育時間の延長 | <input type="checkbox"/> 放課後児童クラブの整備 |
| <input type="checkbox"/> 院内保育所の整備・運営に対する補助 | <input type="checkbox"/> 放課後児童クラブの開設時間（※3）の延長 |
| <input type="checkbox"/> 育児相談や講座など相談支援体制の充実 | <input type="checkbox"/> その他 |
| <input type="checkbox"/> こども医療費助成（※1）の拡充 | （具体的に： _____） |

※1 0歳～小学6年生の子どもが病気やけがをしたときの医療費の一部を助成します。
ただし、小学4～6年生については入院費に限り助成します。

※2 病気や病気の回復期にあるお子さんを対象に、保育園・幼稚園で集団保育できない、または保護者の事情により家庭で保育できない時に一時的に保育する施設（現在、市内に4ヶ所）

※3 平日：放課後～午後6時30分、土曜、学校の臨時・長期休業：午前8時～午後6時30分

■ 最後に、どんなことでも結構ですので、ご提案・ご意見があれば、ご記入ください。

[_____]

■ ご協力、ありがとうございました。

先生自身のこと

(1) 年齢

表1 年齢

年齢	数	%
30～39歳	67	48.2%
40～49歳	30	21.6%
29歳以下	25	18.0%
50～59歳	11	7.9%
60～69歳	4	2.9%
70歳以上	0	0.0%
無回答	2	1.4%
総数	139	100.0%

(2) 卒業後年数

表2 卒業後年数

卒業後年数	数	%
5～10年未満	43	30.9%
10～15年未満	28	20.1%
20～25年未満	19	13.7%
5年未満	13	9.4%
15～20年未満	13	9.4%
25年以上	11	7.9%
研修医	10	7.2%
無回答	2	1.4%
総数	139	100.0%

(3) 専門科目

表3 現在の専門科目

現在の専門科目	数	%
内科	33	23.7%
産婦人科	12	8.6%
皮膚科	10	7.2%
外科	9	6.5%
麻酔科	9	6.5%
精神科	9	6.5%
眼科	8	5.8%
小児科	7	5.0%
放射線科	4	2.9%
耳鼻咽喉科	3	2.2%
泌尿器科	2	1.4%
脳神経外科	1	0.7%
整形外科	1	0.7%
救急	0	0.0%
その他	26	18.7%
無回答	5	3.6%
総数	139	100.0%

(4) 現在の病院の勤務年数

表4 現在の病院の勤務年数

勤務年数	数	%
1～5年未満	54	38.8%
1年未満	43	30.9%
5～10年未満	19	13.7%
10～15年未満	10	7.2%
20年以上	5	3.6%
15～20年未満	4	2.9%
無回答	4	2.9%
総数	139	100.0%

(5) 勤務形態

表5 勤務形態

勤務形態	数	%
常勤	80	57.6%
非常勤(嘱託・パート・その他)	51	36.7%
短時間正職員	6	4.3%
無回答	2	1.4%
総数	139	100.0%

(6) 常勤以外の理由と将来の希望

表6 勤務形態が常勤以外の理由(複数回答)及び将来希望する勤務形態

常勤以外の理由	数	%
雇用条件	9	15.5%
家庭と育児	7	12.1%
育児	6	10.3%
家庭	0	0.0%
介護	0	0.0%
その他	5	8.6%
無回答	31	53.4%
総数	58	100.0%

勤務形態	数	%
常勤	13	22.8%
短時間正職員	6	10.5%
非常勤(嘱託・パート・その他)	4	7.0%
仕事をしない	1	1.8%
その他	2	3.5%
無回答	31	54.4%
総数	57	100.0%

(7) 休職・離職

表7 仕事を中断(休職), 離職した理由(複数回答)及び中断(休職), 離職した期間

休職, 離職した理由	数	%
出産	57	40.1%
育児	50	35.2%
夫の転勤に伴う	18	12.7%
留学	7	4.9%
自分の病気療養	4	2.8%
家族の病気や介護	2	1.4%
家事	0	0.0%
その他	3	2.1%
無回答	1	0.7%
総数	142	100.0%

休職, 離職した期間	数	%
6か月～1年未満	21	28.0%
1～2年未満	17	22.7%
1～6か月未満	14	18.7%
2～3年未満	13	17.3%
3年以上	9	12.0%
1か月未満	0	0.0%
無回答	1	1.3%
総数	75	100.0%

女性医師の職場環境

(1) 女性医師としての悩み

表8 女性医師としての悩み（複数回答）

女性医師としての悩み	数	%
家事と仕事の両立	96	28.4%
育児	55	16.3%
勉強する時間が少ない	51	15.1%
プライベートな時間がない	41	12.1%
当直室・更衣室など施設環境の不備	30	8.9%
男性主導社会	25	7.4%
家族の非協力・無理解	11	3.3%
セクハラ	5	1.5%
その他	13	3.8%
無回答	11	3.3%
総数	338	100.0%

(2) 就労環境や規則の整備

表9 仕事と家庭生活を両立させるための就労環境や規則の整備状況と整備されている内容（複数回答）

卒業後年数	数	%
整備されている	36	25.9%
整備されていない	58	41.7%
分からない	41	29.5%
無回答	4	2.9%
総数	139	100.0%

整備内容	数	%
勤務時間の短縮、残業、当直等の免除	34	55.7%
X線被爆の回避	8	13.1%
休暇の際には代診医師を確保	7	11.5%
院内保育所	4	6.6%
法定外の産前・産後の休暇	3	4.9%
法定外の育児休業	2	3.3%
さまざまな規則が定められている	1	1.6%
給与面での優遇（託児施設など費用手当の支給）	0	0.0%
その他	2	3.3%
総数	61	100.0%

(3) 就労継続に必要な対策

表10 就労継続に必要なと思う制度や仕組み・支援対策（複数回答）

就労継続に必要な制度や仕組み・支援対策	数	%
宿直・日直の免除	52	10.2%
人員（医師）の増員	47	9.2%
病児保育	46	9.0%
複数主治医制度の導入など主治医制の見直し	42	8.2%
託児所・保育施設などの整備・拡充	38	7.4%
時間外勤務の免除	37	7.2%
院内保育所	36	7.0%
出産・育児休業取得者への職場復帰支援	24	4.7%
学童施設（ひまわりクラブ）の充実	23	4.5%
短時間正社員制度の導入・拡充	20	3.9%
男性の家事・育児などへの参加	20	3.9%
保育施設やベビーシッターの斡旋	19	3.7%
代替医師の配置（代診医師派遣制度の導入）	17	3.3%
フレックス制度導入	16	3.1%
ベビーシッター利用の際の費用補助	15	2.9%
保育施設利用の際の保育料の助成	13	2.5%
働きやすい部門への配置転換	10	2.0%
二交代制の勤務体制	7	1.4%
診療報酬引き上げ、医療費の増額	6	1.2%
行政の事業所への補助金整備・拡充	5	1.0%
在宅研修制度	2	0.4%
無回答	13	2.5%
その他	4	0.8%
総数	512	100.0%

妊娠・出産・育児中の働き方

(1) 小学生以下のこどもの人数

表1-1 小学生以下のこどもの人数

区分	こどもの人数	数	%
乳幼児	1	22	38.6%
	2	11	19.3%
	3人以上	1	1.8%
小学校1～3年	1	1	1.8%
小学校4～6年	1	6	10.5%
乳幼児+小学校1～3年	2	4	7.0%
	3人以上	4	7.0%
乳幼児+小学校4～6年	2	1	1.8%
小学校1～3年+小学校4～6年	2	6	10.5%
乳幼児+小学校1～3年+小学校4～6年	3人以上	1	1.8%
総数		57	100.0%

(2) 産前・産後休暇の取得

表1-2 産前・産後休暇の取得有無, 取得状況及び取得しなかった理由

産前・産後休暇の取得	数	%
した	45	78.9%
しなかった	12	21.1%
総数	57	100.0%

取得状況	数	%
完全に取得した	28	62.2%
一部取得した	16	35.6%
無回答	1	2.2%
総数	45	100.0%

年齢	数	%
取りづらくて一時休職または退職した	2	16.7%
その他	9	75.0%
無回答	1	8.3%
総数	12	100.0%

(3) 産前・産後休暇中の身分保障

表1-3 産前・産後休暇中の身分保障の有無

身分保障の有無	数	%
ある	27	60.0%
ない	15	33.3%
分からない	3	6.7%
総数	45	100.0%

(4) 産前・産後休暇中の給与支給

表1-4 産前・産後休暇中の給与支給の有無

給与支給の有無	数	%
はい	22	48.9%
いいえ	23	51.1%
総数	45	100.0%

(5) 育児休業の取得

表1-5 育児休業の取得有無及び期間

育児休業の取得	数	%
はい	34	59.6%
いいえ	23	40.4%
総数	57	100.0%

取得期間	数	%
1～2年末満	9	26.5%
6か月未満	8	23.5%
6か月～1年末満	8	23.5%
2～3年末満	3	8.8%
3年以上	2	5.9%
無回答	4	11.8%
総数	34	100.0%

(6) 育児休業中の身分保障

表1-6 育児休業中の身分保障の有無

身分保障の有無	数	%
ある	14	41.2%
ない	18	52.9%
分からない	2	5.9%
総数	34	100.0%

(7) 育児休業中の給与支給

表1-7 育児休業中の給与支給の有無

給与支給の有無	数	%
はい	8	23.5%
いいえ	26	76.5%
無回答	0	0.0%
総数	34	100.0%

(8) こどもの面倒

表18 普段、こどもの面倒をみている人（複数回答）

面倒をみている人	数	%
保育施設	49	31.6%
自分	35	22.6%
親・親族	23	14.8%
配偶者	18	11.6%
ベビーシッター	13	8.4%
幼稚園	5	3.2%
学校	5	3.2%
お手伝いさん	4	2.6%
友人・知人	0	0.0%
その他	2	1.3%
無回答	1	0.6%
総数	155	100.0%

(9) 利用保育施設

表19 利用している保育施設の種類の種類（複数回答）

保育施設の種類の種類	数	%
認可保育施設	41	78.8%
無認可保育施設	7	13.5%
院内保育所	3	5.8%
その他	1	1.9%
総数	52	100.0%

(10) 保育施設の利用理由

表20 保育施設の利用理由（複数回答）

保育施設の利用理由	数	%
施設までの送迎の負担が少ない	21	33.9%
勤務時間にあった保育時間	20	32.3%
施設的环境などがニーズに合っていた	9	14.5%
他に利用できる施設がなかった	7	11.3%
保育プログラムがニーズに合っていた	4	6.5%
その他	1	1.6%
無回答	0	0.0%
総数	62	100.0%

(11) 保育所・託児所

表21 職場の保育所・託児所の有無

保育所などの有無	数	%
ある	23	40.4%
ない	32	56.1%
無回答	2	3.5%
総数	57	100.0%

(12) 院内保育所の利用

表22 院内保育所の利用有無及び未利用理由（複数回答）

院内保育所の利用有無	数	%
ある	5	21.7%
ない	16	69.6%
無回答	2	8.7%
総数	23	100.0%

院内保育所の未利用理由	数	%
施設的环境などがニーズに合わない	4	25.0%
勤務時間と保育時間が合わない	3	18.8%
定員枠が少ない	2	12.5%
施設までの送迎の負担が大きい	2	12.5%
保育プログラムがニーズに合わない	2	12.5%
利用制限がある	0	0.0%
その他	2	12.5%
無回答	1	6.3%
総数	16	100.0%

(13) 必要と思う行政の支援対策

表23 必要と思う行政の支援対策（複数回答）

支援対策	数	%
病児デイサービスセンターの整備・拡充	44	25.4%
認可保育施設の保育時間の延長	31	17.9%
院内保育所の整備・運営に対する補助	23	13.3%
放課後児童クラブの開設時間の延長	22	12.7%
放課後児童クラブの整備	21	12.1%
認可保育施設の整備	18	10.4%
こども医療費助成の拡充	6	3.5%
育児相談や講座など相談支援体制の充実	2	1.2%
その他	6	3.5%
総数	173	100.0%